

夢を叶えた！マンガ原作者デビュー

「漫

画家になることが夢だったんです」と話すのは左

近充円さん。現在、電子マンガサイト「ピッコマ」と「コミックポルカ」にて、原作者として「そこに僕はいない〜腹話術師の旅回り」を連載しています。

デビューのきっかけは、2018年の「まちぶん in 伊佐市」。左近充さんの作品「祓い屋三姉妹」は見事大賞を受賞し、ショートムービーとして映像化もされました。「まちぶんは市政10周年を記念したプロジェクトだったので、当初は応募が少なかったです。企画を盛り上げる意味でも、自分も出品してみようかなと軽い気持ちで応募しました」と、当時を振り返ります。さらに別の小説コンテストでも最高賞を獲得したことで、その文才を編集部から高く評価されて、マンガの原作を依頼されました。

「画力には自信がなかったので、原作者として自分の作品を出版できると感激でした」と、執筆を快

諾したそうです。

そんな左近充さんですが、実は学生時代は高専に通う理系学生だったそうです。「小説執筆と建物設計は似ているんですよ。まず設計図となる大筋をつくってから、キャラクターの細かい設定やストーリーの展開などを繋げてひとつの世界観を創りあげるイメージです」。「そこに僕はいない」は「旅」と「ミステリー」という2つのテーマがあり、左近充さん自身が大好きな場所という尾道のしまなみ海道を舞台に、変わり者の腹話術師「日花風人」とその愛犬「リョーコ」が、怪事件に挑むストーリーになっています。

「本作をシリーズ化できれば、主人公・風人の過去や秘密も明らかにしていきたいです。たくさん伏線を散りばめているので、読者のみなさんも一緒に推理を楽しんでいただけたら」と話す左近充さん。夢はまだまだ始まったばかりです。

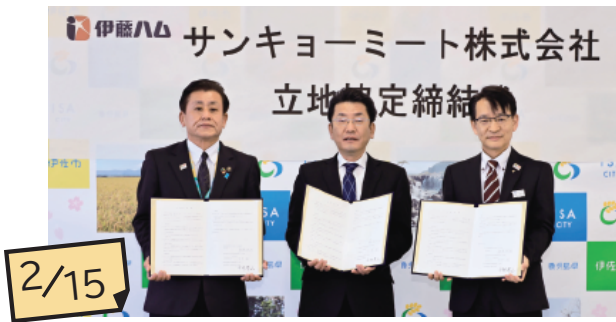
あっぱれ! Vol.35
伊佐盛
イサモリ



左近充 円さん
(ペンネーム：天雲 宇海)

自然を表す漢字を組み合わせたペンネームには、風景描写を大切にしたいという思いを込めました。

立地協定締結



伊佐市はサンキョーミート株式会社と立地協定を締結しました。サンキョーミート株式会社は、3月末で操業を停止する日本フードパッカー鹿児島株式会社の後継企業として、食肉加工業を行います。

古賀満代表取締役社長は「人材を大切にしながら、地域貢献と事業拡大に努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします」とあいさつしました。



伊佐市は株式会社サイコックス、大口電子株式会社と立地協定を締結しました。この立地協定は、大口電子株式会社の建物内に半導体基板の開発ラインを構築するものです。

株式会社サイコックスの飯野貴幸社長は「カーボンニュートラルに大きな貢献ができると期待しています。また、伊佐市の地域活性化にも寄与できるよう努めて参ります」とあいさつしました。

祝 おめでとうございます 社会福祉功労者表彰



茅原 眞理子さん

永年の主任児童委員の功績に対し、厚生労働大臣から社会福祉功労者として表彰されました。

明治安田生命と包括連携協定



伊佐市と明治安田生命保険相互会社が「包括連携協定」を締結しました。

この協定により、高齢者・健康づくり支援や産業・観光振興支援など連携して取り組んでいくこととなりました。

鹿児島支社長の植田博志さんは「地域課題の解決や活性化に向け、連携して取り組んでいきたい」と話しました。



豊作を祈願

J A北さつま大口育苗センターで伊佐総代区葉たばこ播種式が行われ、関係者が種子を植え付けました。

J A北さつまの山口利明さんは「農業資材の高騰など大変な社会情勢ですが、みんなで力を合わせて頑張りましょう」とあいさつし、良質葉の生産と豊作を願いました。



世界を学ぶ



大口高校で「世界の衣食住」を学ぶ授業が行われました。授業はICTツールを活用し、学習アプリ「ロイロノート」やZoomを使って行われました。大口高校の卒業生で、現在、アメリカカリフォルニア州の大学に進学している田中陽稀さんから現地の生活の様子を聞きました。授業を受けた3年生の面高杏さんは「文化の違いをリアルに聞けよかったです。海外への興味をもちました」と話しました。

ピンクの襷をつなぐ



霧島市隼人運動場を発着する第36回鹿児島県地区対抗女子駅伝が開催され、6区21.0975キロで健脚を競いました。

伊佐チームは総合11位(1時間18分3秒)でしたが、区間6位の走りを見せたベテランの坂口一美選手を中心に、全員が粘り強い走りで襷をつないで霧島路を駆け抜けました。

「県広報コンクール」特選2部門、入選2部門を受賞



▲映像の部 特選
(青春ロック 大口高校 100周年)



▲組み写真の部 特選 (9月号)

県内市町村の広報活動を評価する「県広報コンクール」において、伊佐市は「組み写真」「映像」の2部門で、1位にあたる特選を獲得しました。

また、「広報紙」「一枚写真」の部門においても入選いたしました。

このような光栄な賞をいただけたのも、取材に協力していただいた市民のみなさまのおかげです。これからも、伊佐の情報を明るく元気にお届けできるよう、職員一同頑張ります！



▲広報紙・一枚写真の部 入選 (12月号)